

エコアクション21

環境経営レポート

【No.9】

(運用期間：2023年6月1日～2024年5月31日)



(新社屋完成…2023年 富士宮市本社にて撮影)



認証番号 0011900
対象組織：本社、資材倉庫

株式会社 鈴木組

作成日：2024年9月1日

【目次】

◇	①事業の概要	P1
◇	②環境活動実施体制	P2
◇	③環境経営方針	P3
◇	④環境経営目標	P4
◇	⑤環境経営計画	P5
◇	⑥環境経営目標の実績・取組結果	P6
◇	⑦環境実績推移グラフ	P7
◇	⑧環境経営計画の取組結果とその評価	P8
◇	⑨環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟などの有無	P9
◇	⑩当社の取組み	P10 ~11
◇	⑪事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策	P12
◇	⑫代表者による全体の評価と見直し・指示	P13

【 ① 組織の概要 】

1. 事業者名 株式会社 鈴木組
代表取締役 鈴木 統太
(運用期間:2023年6月1日~2024年5月31日)
2. 所在地 本社: 〒418-0022 静岡県富士宮市小泉362-6
資機材倉庫: 〒418-0022 静岡県富士宮市小泉368
3. 環境管理責任者 鈴木 加耶子
及び担当者 TEL:0544-23-2245 FAX:0544-27-3708
E-mail: szkgumi@hyper.ocn.ne.jp
4. 対象範囲 本社、資材倉庫「サイト認証」
5. 事業の内容 土木工事業(土木、舗装、とび・土工)

6. 建設業許可

■建設業

静岡県知事許可(特-3)第3414号

許可業種:土木一式工事業、ほ装工事業、水道施設工事業 有効期限:2026年8月26日
許可年月日:2021年8月27日

静岡県知事許可(般-28)第3414号

許可業種:とび・土工工事業 有効期限:2026年8月26日
許可年月日:2021年8月27日

■産業廃棄物収集運搬業 ※自社運搬のみ

静岡県 第220117939号

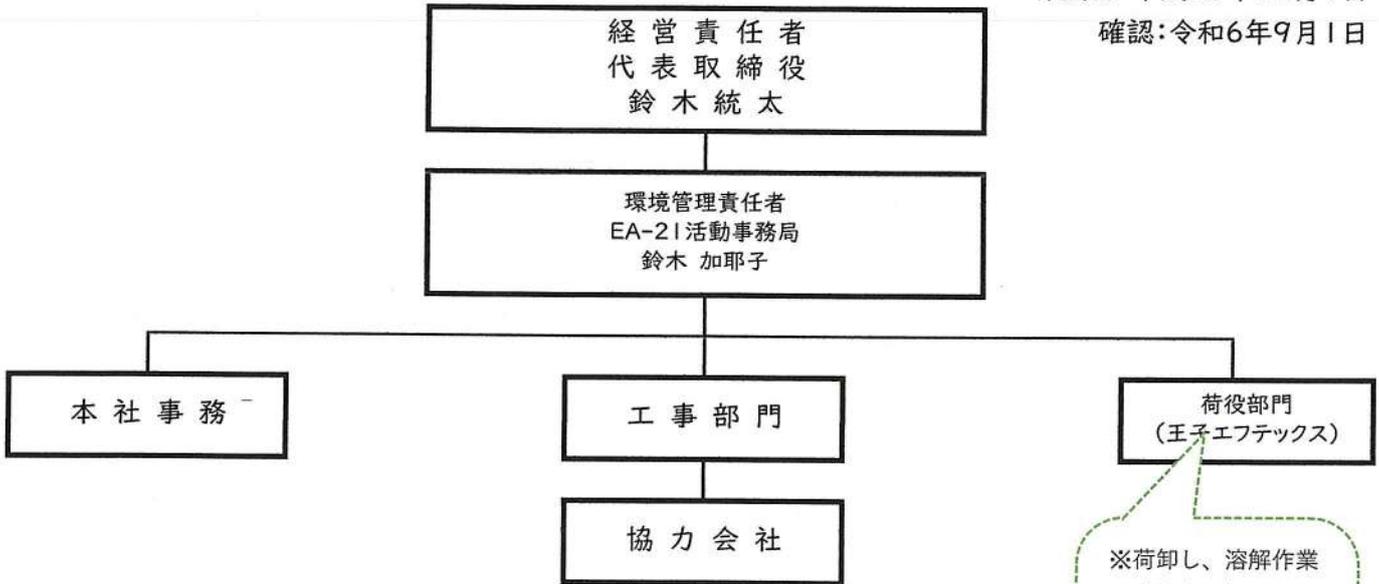
紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず
及び陶磁器くず、がれき類、廃プラスチック類 有効期限:2025年5月8日
許可年月日:2020年6月2日

7. 事業の規模 会社設立:大正9年2月 資本金:2000万円 事業年度:6月~翌5月

活動規模	単位	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	222	563	532	354
従業員	人	対象15人 (全社28人)	対象15人 (全社28人)	対象15人 (全社28人)	対象12人 (全社23人)
事務所床面積	m ²	200	200	200	169
倉庫床面積	m ²	1400	1400	1400	1400

【② 実施体制】

作成者:鈴木加耶子
 作成日:平成28年12月1日
 確認:令和6年9月1日



※荷卸し、溶解作業
 12名駐在〈EA-21
 対象外〉王子エフ
 テックス富士工場内
 の請負でISO-14001
 の活動に従事
 〒416-0937 静岡県富
 士市前田14-1

<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ・環境方針の施策
- ・環境管理責任者の選任
- ・環境目標及び環境活動計画の承認
- ・人材、資金、技術力等の準備
- ・全体の評価と見直し
- ・経営における課題とチャンスを整理し、明確化する

環境管理責任者

- ・システムの確立、実施推進
- ・環境負荷、取組への自己チェックの承認
- ・環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認
- ・環境目標及び環境活動計画の施策
- ・教育、訓練計画の策定と実施

EA-21活動事務局

- ・環境負荷、取組への自己チェックの実施
- ・環境活動レポートの作成
- ・環境文書及び記録の作成、管理

本社事務

- ・EA-21システムの遵守
- ・グリーン購入の推進
- ・節電、節水、省エネ行動の実施

工事部門

- ・EA-21システムの遵守
- ・環境目標及び環境活動計画の実施
- ・緊急時対応訓練推進
- ・協力会社への環境活動の協力依頼
- ・問題点の把握と是正

協力会社

- ・環境負荷の軽減
- ・積極的に教育、訓練に参加
- ・問題点の把握と是正

【③ 環境経営方針】

【環境理念】

株式会社鈴木組は、世界遺産である富士山の雄大な自然の南麓にて土木建設業を営んでおります。
環境に配慮した行動に努め、地域社会に広く貢献する活動を実施致します。

【環境方針】

1. 当社は、土木工事業を通して、EA-21システムを構築し、自主的、積極的に環境保全活動に取り組みます。
2. 関連する環境法令・条例等を遵守するとともに、行政、地域等の要請に協力致します。
3. 環境負荷削減のため、次の事項に取り組みます。
 - ①運搬車両、重機での燃料使用量削減による、二酸化炭素排出量の削減
 - ②現場及び事務所での電力使用量削減による、二酸化炭素排出量の削減
 - ③現場及び事務所から排出される廃棄物の発生抑制、再資源化
 - ④節水活動により水使用量の削減
 - ⑤現場での使用重機は、低騒音・低排出ガス型を使用し、環境に優しい施工
 - ⑥購入物品、建設材料のグリーン調達
4. 地域での社会貢献活動に努めます。
5. 環境経営の継続的改善を誓約します。

制定年月日 2016年 12月 1日

改定年月日 2020年 9月 1日

株式会社 鈴木組
代表取締役 鈴木 統太

【2024年度以降 環境経営目標】

【中期環境経営目標】

※電力の二酸化炭素排出係数は、KDDI 2022年度 調整後排出係数「0.494kg-CO2/kWh」を使用しています。

環境方針	取り組み項目	担当部門	単位	基準値	環境目標					
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
				2023年6月 ～ 2024年5月	2024年6月 ～ 2025年5月	2025年6月 ～ 2026年5月	2026年6月 ～ 2027年5月	2027年6月 ～ 2028年5月	2028年6月 ～ 2029年5月	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	事務所 建設現場	kWh	13621.0	-0.3%	-0.5%	-0.8%	-1.0%	-1.3%	
	燃料使用量の削減 (ガソリン)	全社	L	5928.3	-0.3%	-0.5%	-0.8%	-1.0%	-1.3%	
			L/百万円 (原単位)	16.7	-0.3%	-0.5%	-0.8%	-1.0%	-1.3%	
	燃料使用量の削減 (軽油)	建設現場	L	7400	-0.3%	-0.5%	-0.8%	-1.0%	-1.3%	
			L/百万円 (原単位)	20.9	-0.3%	-0.5%	-0.8%	-1.0%	-1.3%	
二酸化炭素排出量	全社	kg-CO2	39690	-0.3%	-0.5%	-0.8%	-1.0%	-1.3%		
水使用量の削減		事務所	m ³	42	-0.3%	-0.5%	-0.8%	-1.0%	-1.3%	
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	事務所	kg	720	-0.3%	-0.5%	-0.8%	-1.0%	-1.3%	
リサイクル活動の推進	産業廃棄物の再資源化	建設現場	%	100	100%	100%	100%	100%	100%	
グリーン購入(調達)の促進	グリーン購入法適合品を購入する	全社	個	現状把握						
社会貢献活動への参加	ボランティア活動への参加	全社	回	現状把握						
環境に優しい施工・作業	環境に優しい施工	建設現場	—	仕様書通りの施工	環境に優しい施工					

※原単位の計算方法 … 使用量÷売上

※電力の二酸化炭素排出係数は、KDDI 2022年度 調整後排出係数「0.494kg-CO2/kWh」を使用しています。

【⑤ 環境経営計画】

当社の事業活動における環境負担を低減するために
以下のとおりの活動をしています。

【目標期間：2023年6月～2024年5月】

1. 電力使用量の削減

- ①未使用時の伝統消灯の徹底（昼休みの消灯等の実施）
- ②空調温度管理の徹底（暖房21度・冷房27度）
- ③エアコン3カ月に一度の定期点検実施
- ④週一回定時退社の促進（毎週水曜日定時退社日）
- ⑤エネルギー効率の高いOA機器を順次導入する
- ⑥夏季クールビズの実施（5月～9月）

2. 燃料使用量の削減

- ①アイドリングストップの徹底
- ②定期点検の徹底
- ③低公害車への随時切り替えを促進

3. 廃棄物の削減

- ①リサイクルの促進
- ②分別徹底による廃棄物削減（金属、プラスチック、ビン、可燃物の区別）
- ③コピー用紙の両面使用
- ④FAXのPDF化

4. グリーン購入の促進

- ①エコ商品購入の促進（事務用品・用紙・梱包資材など）
- ②洗剤等詰め替え可能な商品の購入

5. 水資源使用量の削減

- ①節水促進の表示
- ②洗い桶の設置

6. 環境保全活動の実施

- ①会社周辺の美化活動

7. 社会貢献活動への参加

- ①ボランティア活動への参加
- ②エコキャップ収集

8. 環境に優しい施工・作業の実施

- ①公共工事は仕様書通りの施工を行う
- ②低騒音・低排出ガス重機の使用
- ③再生砕石、再生盛土材、再生生コン等の使用
- ④環境に優しい資機材の使用

【⑥環境経営目標の実績・取組結果】

【運用期間（2023年6月～2024年5月）の環境目標の実績】

※電力の二酸化炭素排出係数は、KDDI 2018年度 調整後排出係数「0.574kg-CO₂/kWh」を使用しています。

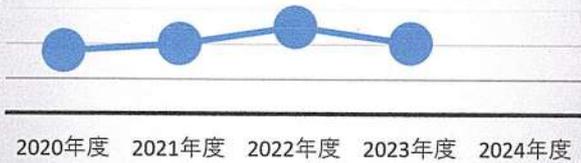
環境方針	項目	担当部門	単位	2023年度				
				目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価
二酸化炭素の削減	電力	全社	kWh	-2.50%	11898.9	14.5%	13621.0	×
	ガソリン	全社	L	-2.50%	6113.6	-2.2%	5978.3	×
			L/百万円	-2.50%	21.8	-22.3%	16.9	○
	軽油	建設現場	L	-2.50%	18320.5	-59.6%	7399.9	○
			L/百万円	-2.50%	65.2	-67.9%	20.9	○
	二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	-2.50%	69967.7	-41.7%	40779.0	○
水使用量の削減	水使用量	全社	m ³	-2.50%	41.7	-0.8%	42.0	×
リサイクル活動の推進	産業廃棄物の再資源化	建設現場	%	---	100	---	100	○
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	本社	kg	2.53%	698.4	1.0%	720	×
グリーン購入の促進	グリーン購入法適合品	全社	個	現状把握		-	20	○
社会貢献活動への参加	ボランティア活動への参加	全社	回	現状把握		-	5	○
環境に優しい施工・作業	環境に優しい施工・作業	建設現場	-	仕様書通りの施工		仕様書通りの施工ができた		○

未達成の項目	原因	是正処置
電力	エアコン使用量、不在時の消灯が徹底できなかった。	未達成ではあるが、目標値を大きく下回ってはいない為、これ以上の削減は難しい。 次回目標値の見直しをする。
ガソリン	遠方の現場が多かった。 アイドリングストップ等基本的な対策は常時周知を継続する。	
水	特になし。	
一般廃棄物	コンパクトにして捨てるなどの工夫ができていなかった。	

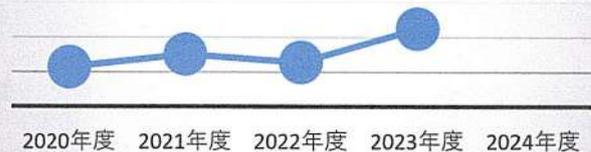
【⑦環境実績推移グラフ】

	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
	kg-CO2	35983	40290	50020	40779	
売上高	百万円	222	563	532	354	
原単位	kg-CO2/百万円	111	72	95	115	
電力使用量	kWh	13075	13257	13140	13621	
ガソリン使用量	L	4171	5965	6429	5978	
軽油使用量	L	6910	6923	10391	7400	
水使用量	m ³	42	42	42	42	

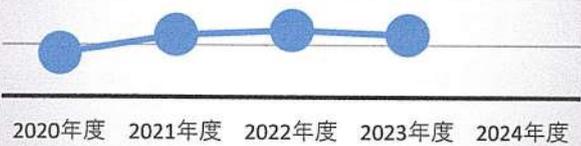
kg-CO2



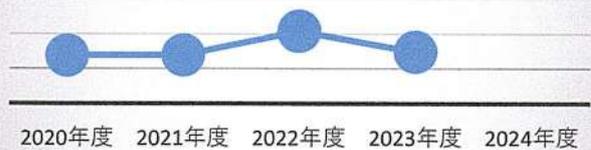
電力使用量



ガソリン使用量



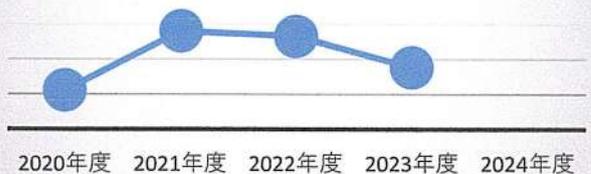
軽油使用量



水使用量



売上高



【⑧環境経営計画の取組結果とその評価】

【取り組み項目】		評価	内容	次年度取組内容
1. 電気使用量の削減	①未使用時の伝統消灯の徹底(昼休みの消灯等の実施)	○	電源付近に節電表示実施できた	継続する
	②空調温度管理の徹底(暖房21度・冷房27度)	△	猛暑日には一時的に設定温度を下げるがあった	継続する
	③エアコン3カ月に一度の定期点検実施	○	実施できた	継続する
	④週一回定時退社の促進(毎週水曜日定時退社日)	○	実施できた	継続する
	⑤エネルギー効率の高いOA機器を順次導入する	○	実施できた	継続する
	⑥夏季クールビズの実施(5月～9月)	○	事務所内ではTシャツ作業、空調着を取り入れた	継続する
2. 燃料使用量の削減	①アイドリングストップの徹底	○	実施できた	継続する
	②定期点検の徹底	○	実施できた	継続する
	③低公害車への随時切り替えを促進	—	購入せず	継続する
3. 廃棄物の削減	①リサイクルの促進	○	実施できた	継続する
	②分別徹底による廃棄物削減(金属、プラスチック、ビン、可燃物の区別)	○	ゴミ箱付近に表示実施できた	継続する
	③コピー用紙の両面使用	○	実施できた	継続する
	④FAXのPDF化	○	実施できた	継続する
4. グリーン購入の促進	①エコ商品購入の促進(事務用品・用紙・梱包資材など)	○	実施できた	継続する
	②洗剤等詰め替え可能な商品の購入	○	実施できた	継続する
5. 水資源使用量の削減	①節水促進の表示	○	水道付近に表示実施できた	継続する
	②洗い桶の設置	○	実施できた	継続する
6. 環境保全活動の実施	①会社周辺の美化活動	○	実施できた	継続する
7. 社会貢献活動への参加	①ボランティア活動への参加	○	実施できた	継続する
	②エコキャップ収集	○	ゴミ箱付近に表示実施できた	継続する
8. 環境に優しい施工・作業の実施	①公共工事は仕様書通りの施工を行う	○	実施できた	継続する
	②低騒音・低排出ガス重機の使用	○	実施できた	継続する
	③再生砕石、再生盛土材、再生生コン等の使用	○	実施できた	継続する
	④環境に優しい資機材の使用	○	実施できた	継続する

【⑨環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況結果】

環境関連法規等の遵守項目は以下の通りです。

なく、関係当局からの指摘も過去3年間ありませんでした。

評価日：2024年9月1日

評価者：鈴木 加耶子

法規則名	主要な法規制	当社の対応	遵守確認	評価
廃棄物の処理 及び 清掃に関する 法律	①廃棄物の減量化	分別の徹底及び廃棄物削減活動の実施	市町村のごみの出し方の遵守確認	○
	②廃棄物の適正処理の確保		廃棄物分別表に基づき実施状況確認	
	③地方公共団体の政策への協力		環境目標/活動計画表にて確認	
	④回収又は処分は定められた業者に委託	自社便にて市焼却炉へ運搬	市焼却所領収書の受け取り確認	○
	⑤産業廃棄物の保管基準の遵守	分別の徹底及び廃棄物削減活動の実施	表示板設置確認	○
	⑥廃棄物の飛散、流出、地下浸水の防止		保管基準の遵守確認	
	⑦産業廃棄物の処理委託基準の遵守	産業廃棄物置場の表示版設置及び保管基準の遵守	委託許可証明書確認	○
	⑧産業廃棄物委託契約書の記載事項の遵守	委託業者の許可証明書の確認		○
	⑨契約書は契約終了日から5年間保管	委託契約書の記載内容確認		
	⑩産業廃棄物管理票の管理義務	マニフェストの交付・保管・戻り状況確認	マニフェスト回収確認	○
⑪期限内に受領できなければ知事に報告		マニフェスト報告確認		
⑫マニフェストの交付の報告(知事へ)	マニフェストの報告			
静岡県 産業廃棄物の 適正な処理に 関する条例	①産業廃棄物管理責任者の設置 ②委託業者への現地確認 ③現地確認の記録の保管 ④不適正な処理が行われた場合の必要な措置の実施及び県への報告	産業廃棄物管理責任者の設置 委託業者への現地確認 現地確認の記録の保管	記録の確認	○
建設業法	①建設業の許可 ②建設工事の請負契約	許可区分及び更新の確認 工事毎に書類を提出及び表示する 各現場毎に掲示及び設置する	許可証の確認 実施確認	○
自動車 リサイクル法	①自動車の長期間使用 ②使用済自動車は引き取り業者に渡さなければならない	引取業者に処理依頼する	発生していない	○
省エネ法	①エネルギー使用の合理化推進	電力使用量の削減活動の実施	環境改善実施報告にて確認	○
グリーン購入法	①物品の購入、役務の提供を受ける場合はできる限り環境物品等を選択	環境配慮型製品の購入	環境改善実施報告にて確認	○
浄化槽法	①浄化槽の届け出 ②浄化槽の清掃、点検義務 ③法定検査	届出書の確認 指定検査機関の検査結果確認	清掃点検結果書確認 検査結果確認	○
フロン排出抑制法	①廃棄する場合フロン回収業者にフロン類を引き渡さなければいけない ②行程管理制度遵守、委託確認書の交付、引取証明書、契約書 ③簡易点検	廃棄時に指定業者に処理依頼する 委託契約書、委託確認書交付、引取証明書 3か月に1回以上エアコン簡易点検 ※点検表は3年間保管	発生していない 簡易点検異常なし	○

【⑩当社の取組み】

■富士宮市のエコキャップ収集活動へ協力■



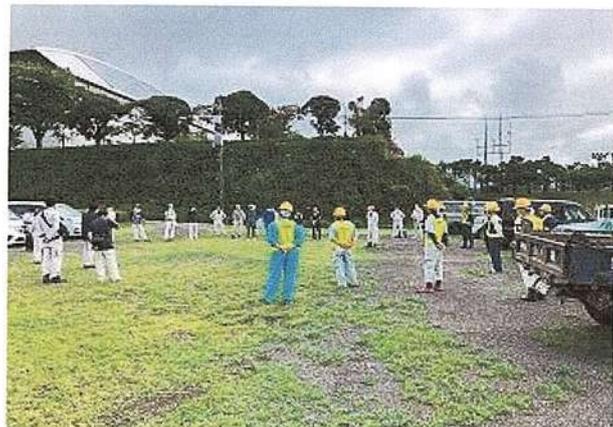
■グリーン購入法適合品の購入■



■富士宮建設業組合 花植えボランティア活動への参加■



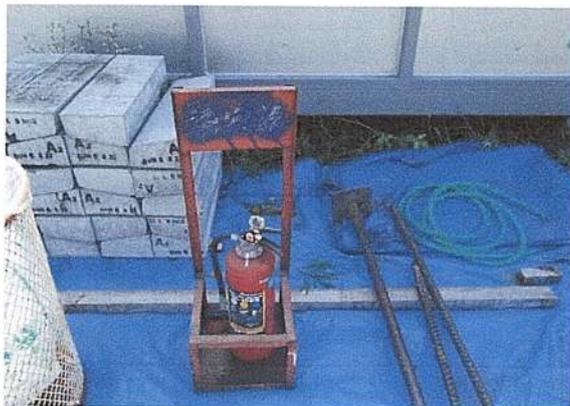
■富士宮建設業組合 清掃ボランティア活動への参加■



■富士宮市へタオル寄贈■



■工事現場でのごみ分別、軽油漏れ・火災に対する応急処置対策■



【⑩事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策】



【訓練・見直し】

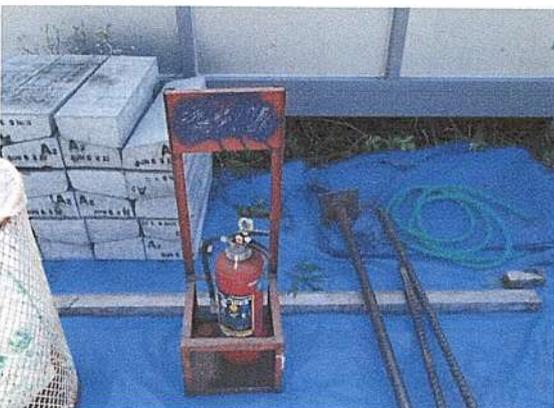
・年1回 消火器の点検、避難訓練、手順書の見直し

【火災訓練の実施】

実施日： 2024/5/1

実施内容：工事現場での消火器使用方法、火災対応手順の実施、消火器を使用する

【訓練の様子】



【訓練結果】

- ・本年度は工事現場での訓練を実施した。
- ・手順書を見て、適切に消火器を扱うことができた。
- ・作業員に対する火災予防の教育、訓練を継続する。
- ・消火器、避難経路などの防火対策を点検する。
- ・指定の喫煙場所以外でたばこを吸っている作業員がいないか確認する。

【⑫代表者による全体評価、見直し・指示】

【1、見直し関連情報】

	項目	確認	評価
1	エコアクション21文章	☑	記録、文書として作成した
2	環境経営目標及び目標達成状況	☑	ほぼ達成できた
3	環境活動計画の実施及び運営結果	☑	ほぼ実施できている
4	環境関連法規等の遵守状況	☑	遵守している
5	外部からの環境に関する苦情や要望等	☑	苦情、要望なし
6	その他	☑	

【2、代表者による全体評価・見直し指示】

	項目	変更の 必要性	有の場合の指示事項等
1	環境経営目標	なし	
2	環境方針	なし	
3	環境活動計画及び環境経営システム	なし	
4	実施体制	なし	
5	その他	なし	

【全体評価、コメント】

原単位での削減目標は達成できているので、今後も継続して努力する。
 各値の削減に関して、会議等を行い工夫できる点はないか社内全体で検討する。
 現場の環境管理について、社内会議、社内パトロール等による指導を徹底していく。
 また、創意工夫提案し、積極的に実施する。
 2023年9月より新社屋が完成、新たなスタートを切ることができた。
 来年度の環境経営レポートでは、新たに見直した環境経営目標を基に
 環境に優しく、持続可能な環境経営計画の推進に努めていく。

2024年9月1日
 株式会社 鈴木組
 代表取締役 鈴木統太